

## 平成 29 年 福祉文教委員会 第 2 回議会報告会

平成 29 年 12 月 4 日

委員長 【 土屋 光行 】

議 会 報 告	委員会 テーマ	福祉文教関係全般について	
	テーマ 設定目的	当市が展開している福祉・文化・教育に関する事業に対し、議会のア プローチや評価について報告するとともに、関係団体との情報共有、意見交 換を行う。	
	対象団体	家庭教育学級	
	会 実 施 計 画	調整事項	実施日
		時間	午前・午後 9 時 30 分 ~ 午前 午後 11 時 00 分
		会場	市民交流センター ふじざくら 第 3・4 会議室
		出席 予定者	福祉文教委員会委員 7 名
施 計 画	事前準備	役割 分担	開会挨拶、司会進行…委員長 PC操作…長田委員 発表…辻川委員、小林副委員長、大窪委員、神野委員 写真撮影…委員長、辻川委員 書記等…勝亦委員
		資料	
		その他	
備考	学校給食全般について、学校における防災教育のあり方、いじめ対策の現状につい て、子育て支援の現状についての 4 テーマについて発表		

議 会 報 告	実施日時 出席者	実施日	平成 29 年 11 月 13 日 (月)	
		時間	午前 午後 9 時 30 分 ~ 午前 午後 11 時 00 分	
		会場	市民交流センター ふじざくら 第 3・4 会議室	
		当日 出席者	福祉文教委員会委員 7 名	
会 実 施 報 告	実施内容 概要	当委員会が所管する事項の内、家庭教育学級の運営委員の皆様 に現時点における必要な報告事項として、次の 4 つのことを報告し、 質疑応答・意見交換等を行った。 1. 学校給食全般について 2. 学校における防災教育のあり方について 3. いじめ対策の現状について 4. 子育て支援の現状について		
		報告書	報告書作成 議会だより	土屋光行
備考	当日配布した資料 1. 進行次第 2. 説明資料 3. 議会案内 4. アンケート用紙			

## 議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年11月13日（月）午前9時30分より午前11時30分まで	
開催場所	市民交流センター ふじざくら 2階 第3・4会議室	
テーマ	福祉文教関係全般について	
出席議員	司会者	委員長 土屋 光行
	記録者	勝亦 功 委員
	報告者	副委員長 小林恵美子 委員 大窪民主・辻川公子・神野義孝
	その他	・パワーポイント投影操作等担当 長田文明 ・総括担当 勝亦 功
参加人数	合計55人（うち、家庭教育学級の運営委員は43人）	
実施内容	<p>開催目標を『開かれた議会に寄り、市民各界の皆様とのコミュニケーションをより一層深め、市議会が真にその役割を発揮し、輝きのあるまちづくりを推進していく』と設定している中で、今回は所管事項の内、特に家庭教育学級の運営委員の方々に報告したい次の4点について、議会の取り組みを中心に報告（説明）し、それぞれの報告事項についての質疑応答を行った。</p> <p>〈報告事項〉 1.学校給食全般について 2.学校における防災教育のあり方について 3.いじめ対策の現状について 4.子育て支援の現状について</p>	
主な意見・提言等	<p>1.災害時における児童生徒の保護者への引き渡し訓練について、幼・保、小・中各校等の連携を徹底していくことについて、現状に関する質問や課題等についての話し合いが行われた。</p> <p>（特に、小学校と中学校との距離が遠いとか、朝日小のように、複数の中学校へ通っている場合等における訓練の学校間連携の状況がどうなのか等についての質問もあった。）</p> <p>2.いじめ対策の現状についての報告に関して、教師のいじめの有無について質問があった。（当市においては確認されていないと答えた。）</p> <p>*上記1・2については既に関係当局へ連絡し、対応を依頼している。</p> <p>*アンケートにおける意見等への対応は、別途行う。</p>	

以上のとおり、報告します。

平成29年12月4日

御殿場市議会議長 様

福祉文教委員会 委員長 土屋 光行



# 御殿場市議会 議会報告会



11月 20日	11月 20日
11月 21日	11月 21日
11月 22日	11月 22日
11月 23日	11月 23日
11月 24日	11月 24日
11月 25日	11月 25日
11月 26日	11月 26日
11月 27日	11月 27日
11月 28日	11月 28日
11月 29日	11月 29日
11月 30日	11月 30日

- 1 学校給食全般について
- 2 学校における防災教育の在り方
- 3 いじめ対策の現状について
- 4 子育て支援の現状について

福祉文教委員会 (ふじざくら第3・4会議室)  
H29. 11. 13 (月) 9:30~11:30

# ★教育費 学校給食全般

## 「御殿場市給食センター」

- ① 南学校給食センター（1日5千食）  
南小学校・東小学校・朝日小学校・神山小学校  
御殿場中学校・南中学校・富士岡小中学校
- ② 西給食センター（1日3300食）  
御殿場小学校・原里小学校・玉穂小学校  
印野小学校・原里中学校・西中学校
- ③ 高根給食センター（1日500食）  
高根小・中学校・上小林分校

# ★平成28年決算額 総額9億8400万円

- 建物及び維持管理費代 1年間償還金 約1億円  
関電工グループ（PFI方式平成22年～15年間）  
総事業費18億円
- 正規職員25名+臨時職員37名  
年2億6500万円余
- 材料代 4億4000万円（全額自己負担）
- 他諸経費+光熱費+メンテナンス補修費1200万円余  
（財産区繰入金）

# ★学校給食への地場産品の取り組み

◎米 [御殿場こしひかり] 100% (週5日中3日間)  
1日一人80g × 8000人 = 640kg (約10俵)  
(60円~70円) 560,000円

◎味噌 「古里工房」

★鶏肉 「東富士農産」 100%

◎豆腐 「さかぐち屋」 100%

★醤油 「天野醤油」 100%

◎もやし 「板妻リーフ」 100%

◎野菜 (ゴーヤ・トマト) と肉 ⇒仕入 JAか地元組合」



# みくいや地場産物MAP

～いくつ知っているかな～

**① みそ**  
あまごみそ (新潟県 妙高)

**② 牛乳** 新潟県産 全乳粉 (新潟県 妙高市)

**③ 小麦粉** 新潟県産 (新潟県 妙高市)

**④ とうもろこし** 新潟県産 (新潟県 妙高市)

**⑤ トマト** (新潟県産 水産)

**⑥ どうもろこし** 三ヶ野 (新潟県 妙高市)

**⑦ 梅干**

**⑧ キヤベ** 新潟県産 (新潟県 妙高市)

**⑨ しよ**

新潟県産の小麦粉は、品質が良く、パンに最適です。

新潟県産のとうもろこしは、甘くて美味しいです。

新潟県産のトマトは、肉厚で多汁です。

新潟県産の梅干は、酸っぱくて美味しいです。

新潟県産のキヤベは、新鮮で美味しいです。

新潟県産のしよは、独特の風味があります。

クイズ  
名前はなあに？  
私たちの名前を知っているかな？

クイズの答えは、  
みくいやです。

クイズ  
実のごはんは  
何という名前の米を  
使っているのでしょうか？

クイズの答えは、  
あまご米です。

# ★アレルギー対応策

## 「対象となる食品」

◎第1位 牛乳 ◎海老 ◎蟹 ◎小麦 ◎乳製品 ◎大豆  
◎落花生

◎「血液検査→内科医と相談」

「対象者」9000人中約300人該当（約3%～4%）  
弁当持参10名位

◎年1回 アレルギー対応カレー実施



# ★親子で楽しむクッキング

◎夏休み中 年1回南学校給食センター会議室で  
参加者12組（給食センター会議室無料開放可能）



## ★議会での取り組み

Q 静岡茶の学校現場への取り組みをすべき  
A 栄養面から牛乳からの切り替え困難

## ★学校給食の課題

◎西給食センター及び高根給食センターの  
今後の計画

# 学校における防災教育の在り方

## 学校における防災教育の方針

- ・ 県の防災教育基本方針等

## 議会のアプローチ

- ・ 先進市の行政視察、一般質問等

## 御殿場市の災害の歴史

- ・ 火山
- ・ 地震
- ・ 水害
- ・ 雪害等

## 市内小中学校の防災教育の現状

- ・ 避難訓練の重視（地震、火災、引き渡し）
- ・ 多面的な防災教育
- ・ 市出前講座等活用拡大中

## 問題点

- ・ 学校等の避難所運営の負担が大きい。
- ・ 火山防災訓練の遅れ
- ・ 大雪時、通学路に大量の雪が堆積
- ・ 地域防災訓練時、生徒等への配慮不足

## 対策

- ・ 支援範囲の明確化等
- ・ 火山防災訓練の推進
- ・ 行政、学校、地域等の役割等の明確化
- ・ 地域からの適切な任務付与、指導

当市の小中学校への出前講座、ジュニア防災士講座

# 御殿場市の災害の歴史

災害発生日	種別	概要	時期
宝永4年 1707. 12. 16	火山	富士山の宝永噴火により、市内は神山地域を除き50cm以上降灰し、壊滅的被害を受け住民が流出	310年前
大正12年 1923. 9. 1	地震	関東大震災により、死者19名、全壊459戸、半壊1340戸	94年前
昭和54年 1979. 10. 19	台風	台風20号により総雨量300mm、全壊10戸、半壊4戸、流出1戸、床上浸水42戸	38年前
昭和57年 1982. 8. 1	台風	台風10号により総雨量555mm、半壊5戸、一部損壊1戸、床上浸水21戸、床下浸水107戸	35年前
平成19年 2007. 9. 6	台風	台風9号により、総雨量631mm、黄瀬川の氾濫により床上浸水13戸、床下浸水31戸	10年前
平成22年 2010. 9. 8	台風	台風9号により、10時間で218mm、床上浸水1戸、床下浸水10戸	7年前
平成26年 2014. 2. 14	大雪	積雪量85cm、住家一部損壊44件、高速道路等の通行止め、小・中学校等の休校2日	3年前

# 学校における防災教育基本方針（県）

区分	概 要
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科で防災教育の指導の機会を示し、発達段階に応じて家庭や地域との連携強化を図りながら、総合的かつ体系的に防災教育を推進</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児・小学生低学年：自らの身を守り乗り切る能力</li> <li>小学生中・高学年：知識を備え行動する能力</li> <li>中学生：地域の安全に貢献する能力、状況判断し行動する能力</li> </ul>
取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校は様々なケースを想定した防災マニュアルやそれに沿った避難訓練を検証</li> <li>防災教育推進のため自主防災組織等との連絡会議を定期的を開催</li> </ul>
今後の推進方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育と防災訓練の場面を多様に設定し、対処能力を向上</li> <li>災害発生時の指導者の洞察力と実行力等強いリーダーシップ</li> <li>「児童生徒の生命を危機から守る」役割の自覚等教職員の心構え</li> <li>学校周辺の独自の防災マップの作成と効果的な活用</li> <li>災害発生後3日間程度、生命・生活が維持できる物資や資材の備蓄</li> <li>学校の管理下では、児童生徒等の安全確保を何よりも優先し、安全に避難させ、責任をもって保護者に引き渡すことが最も重要</li> </ul>

# 平成28年度 市内小学校の防災教育の現状

区 分	避難訓練				備 考
	地 震	火 災	不審者	引渡し	
御殿場小	○	○	○	○	予告なしの訓練等を実施
東 小	○	○		○	
御殿場南小	○	○		○	予告なしの訓練を実施
富士岡小	○	○		○	煙体験（1年）
神 山 小	○	○	○	○	起震車体験
原 里 小	○	○	○	○	4月に非常食1食分を持参
朝 日 小	○	○		○	起震車体験（5・6年）
玉 穂 小	○	○	○	○	暴風雨時の訓練を実施
印 野 小	○	○		○	
高 根 小	○	○		○	3月11日を「高根小防災教育の日」として指導

# 平成28年度 市内中学校の防災教育の現状

区 分	避難訓練				備 考
	地 震	火 災	不審者	引渡し	
御 殿 場 中	○	○		○	
南 中	○			○	
富 士 岡 中	○			○	1年生52人が「ジュニア 防災士養成講座」受講
原 里 中	○	○		○	3年生が起震車体験や防災 学習等の市出前講座を受講
西 中	○	○		○	3年生が防災についての課 題追究を行い、地域で発表
高 根 中	○	○		○	予告なしの避難訓練実施

※ その他、理科等の教科学習や集会・短学活等において、多面的に防災教育を実施（小中学校）

# 小中学校の出前講座・ジュニア防災士養成講座の状況

区分	年度	学校名等	講座内容
出前講座	24	御中、原里中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（地震、火山、風水害）</li> <li>・ DIG</li> <li>・ HUG</li> <li>・ 地震体験</li> <li>・ 煙体験</li> <li>・ 備蓄食料試食</li> </ul>
	25	御中、南中、西中	
	26	南中、西中、高根中	
	27	神山小、原里中、西中、高根中	
	28	朝日小、神山小、高根小、原里中、西中、高根中	
	29	富士岡小、玉穂小、西中、富士岡中、高根中	
ジュニア防災士養成講座	25	高根中（3年生）42人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タウウォッチング</li> <li>・ アルミ缶による簡易コップの作成</li> <li>・ 「紙ぶるる」で耐震を学ぶ</li> <li>・ AEDの使い方</li> <li>・ 防災クイズ等</li> </ul>
	26	御中（1年生）35人	
	27	西中（3年生）102人	
	28	富士岡中（1年生）52人	



## 問題点と対策

区 分	問 題 点	対 策
避難所の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校等の避難所は、発災時、施設開放準備と避難者の受け入れ支援等で大きな負担を強いられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援範囲の明確化</li> <li>・ 自主防災会の早期運営の開始</li> <li>・ 連絡会議での意見交換</li> </ul>
火山防災対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火山防災訓練の遅れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的対応要領の検討</li> <li>・ 火山防災訓練の実施</li> </ul>
通学路等の除雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大雪時、歩道・通学路に雪が堆積し、通学が危険</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政、学校、地域等の役割、除雪要領の明確化</li> </ul>
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域防災訓練における地域の生徒、児童の活用や配慮が足りない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域から生徒、児童への適切な任務附与、指導</li> </ul>

## 議会のアプローチ

区 分	質問・提言等	備 考
一般質問	災害時の避難所運営について： ・市指定避難所となる学校等の負担軽減のための自主防災組織等の連携強化と訓練の実施	(H24. 9. 26)
委員会 行政視察	霧島山の火山防災対策について、小中学校の火山防災体制等を研修し、一般質問に反映	(H27. 7. 15)
会 派 行政視察	桜島火山対策について、小中学校の防災訓練等を研修し、一般質問に反映	(H27. 7. 27)
一般質問	富士山の火山防災対策について： ・小中学校等の火山防災教育及び訓練の推進	(H27. 9. 18)
一般質問	歩道・通学路の除雪について： ・通学路・歩道の除雪の行政、学校、自主防災会等の役割及び除雪要領の明確化	(H28. 12. 7)

# いじめ対策の現状について

## いじめとは

- いじめとは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」を言います。
- 具体的ないじめの内容
  - ・冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる
  - ・仲間はずれ、集団から無視をされる
  - ・軽く体を当てられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする
  - ・体あたりされたり、叩かれたり、蹴られたりする
  - ・金品をたかられる
  - ・金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする
  - ・嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
  - ・パソコンや携帯電話を使って、誹謗中傷や嫌なことをされる 等
- 教職員はどのような理由があろうとも絶対に許されない行為として指導

## いじめの状況

- 各学校では、子どもたちの変化を看取ることを意識し、定期的なアンケートや相談がしやすい体制づくりを行っている。
- いじめの認知件数（「いやなことを言われた」等の軽微なものを含む）
  - ・平成26年度から28年度は、市内全体ではほぼ横ばい状態
  - ・小学校では若干の増加傾向、中学校では若干の減少傾向
  - ・平成28年度は、小学校と中学校の認知件数は、ほぼ同数（中学校は小学校の約2倍の発生率）
  - ・平成27年度のいじめの認知件数は、小学校49件、中学校59件、合計108件（前年度比プラス10件）、内容は、冷やかしやからかい、悪口などが多く認知
- いじめにより子どもが自殺を図った場合や精神性の疾患を発症した場合、また長期間にわたり学校を欠席した場合等の「重大事態」は現在まで発生していない。

# 御殿場市いじめ基本方針

- いじめ問題対策連絡協議会・いじめ防止等対策推進委員会の設置
- 未然防止のための教職員の資質向上・配置工夫、外部人材への協力依頼促進
- 早期発見・早期対応のための体制整備の構築、関係機関との連携強化
- 各学校の「いじめ防止基本方針」策定

(平成26年10月 策定)

# 市・教育委員会のいじめ防止対策

## ● 組織の設置

- いじめ問題対策連絡協議会：【構成員】御殿場警察署生活安全課長、御殿場市家庭相談員、東部児童相談所職員、御殿場市青少年センター所長、保護司、主任児童委員、社会教育課 社会教育指導員、生活指導担当指導校長、生活指導担当 指導教頭、各校生徒指導主事等
- 教育委員会の付属機関：【構成員】学識経験者、心理や福祉の専門家等

## ● いじめの防止等のための対策

- いじめの未然防止
  - ・ 教職員の資質向上、教職員の配置、外部人材への協力依頼
  - ・ 調査研究の推進及び啓発活動等
  - ・ 学校運営の改善への支援
- いじめの早期発見・早期対応
  - ・ 早期発見・早期対応のための体制整備
  - ・ いじめの報告を受けた際の措置
  - ・ 出席停止制度の適切な運用
- 関係機関等との連携

## ● 基本方針の適宜見直し

# 学校のいじめ防止対策

- 基本方針の策定
- 組織の設置（常設）  
教職員：校長、教頭、主幹教諭、教務主任、学年主任、生徒指導主任等  
外部専門家：スクールカウンセラー、学校評議員等
- いじめの防止等のための対策
  - いじめの未然防止
    - ・ 道徳教育等の推進
    - ・ 子どもの自主的活動の場の設定
    - ・ 保護者や地域への啓発
    - ・ 教職員の資質向上
  - いじめの早期発見・早期対応
    - ・ 子どもの実態把握
    - ・ 相談体制の整備
    - ・ 学校のいじめに対する措置：早期事実確認、教育委員会への報告、子どもの安全・安心、保護者との情報の共有、警察との連携
    - ・ 校長及び教員による懲戒
  - 関係機関等との連携

# 議会のアプローチ

区 分	質問・提言等	備 考
一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いじめ・問題行動等の防止策と対応策について：               <ul style="list-style-type: none"> <li>・三つの重点目標、四つの柱を重点に取り組み</li> <li>・日記の活用、ノーメディアウィーク設置の検討等</li> </ul> </li> </ul>	(H26. 9. 22)
一般質問	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いじめ防止基本方針の課題について：               <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数学級の推進等による教師の子どもと向き合う時間の確保</li> <li>・いじめを受けた児童や保護者への適切な情報の提供等</li> </ul> </li> </ul>	(H26. 12. 11)
決算質疑	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成27年度の「いじめ問題対策連絡協議会の開催状況：6月、9月、11月の計3回</li> <li>●平成27年度のいじめの認知件数、内容、対応：               <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校で49件、中学校で59件、計108件</li> <li>内容は冷やかし、からかい、悪口などが多く、軽度なものもいじめとして認知し、早期対応、組織対応を心がけている。</li> </ul> </li> </ul>	(H28. 9. 27)



# 子育て支援の現状について

## 子ども・子育て支援事業計画(27.3)の概要

子ども・子育て支援新制度では「子どもの最善の利益」を実現する社会を目指すことを前提に従来の子育て支援に関する制度や財源を一元化して新しい仕組みを構築し、幼児期の学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における養育支援等を総合的に推進していくことを目指します。

- 質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的提供
- 保育の量的拡大確保
- 地域の子ども子育て支援の充実

# 予算の状況(平成29年度一般会計当初予算等)

(単位：千円)

区 分		27年度予算	28年度予算	28年度決算	29年度予算
放課後児童健全育成事業		117,163	146,670	140,669	152,233
放課後児童クラブ運営費		106,361	130,613	121,729	125,399
民間補助金		7,821	16,057	18,940	21,834
御小整備事業		—	—	—	5,000
教育・保育給付金の 子どものための	施設型給付金				
	保育園分	—	1,639,139	1,112,449	1,763,463
	幼稚園分	—	45,606	19,820	40,302
	公立施設個人給付金				
	保育園分	—	1,142,174	551,197	1,169,727
	幼稚園分	—	252,073	234,307	235,274
ファミリーサポートセンター事業		4,973	5,475	5,405	6,198

# 教育・保育量の見込みと確保の内容等(市全域)

(単位：千円)

区 分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1号認定 (教育3～5歳)	1,387	1,345	1,317	1,307	1,292
	1,810	1,939	1,941	1,943	1,943
	423	594	624	636	651
2号認定 (保育3～5歳)	1,232	1,195	1,170	1,160	1,147
	1,208	1,189	1,181	1,167	1,159
	△24	△6	11	7	12
3号認定 (0～2歳)	988	978	956	941	928
	905	902	908	920	928
	△83	△76	△48	△21	0
時間外保育 事業	1,131 ／23箇所	1,106 ／23箇所	1,083 ／23箇所	1,070 ／23箇所	1,057 ／23箇所
放課後児童 健全育成事業	795 ／18箇所	835 ／19箇所	835 ／19箇所	1,040 ／24箇所	1,040 ／24箇所

※ 御殿場市子ども・子育て支援事業計画による。 24

## 平成28年度 保育事業の実績

区 分		平成27年度	平成28年度
一時預かり事業 (年間延べ人数)		11,503人/21園	9,832人/21園
延長保育		26,618人	26,575人
放課後児童クラブ利用者数		660人	679人
ファミリーサポートセンター事業	依頼会員	544人	612人
	協力会員	145人	148人
	依頼・協力会員	188人	195人
	計	877人	955人

子育てサロン

御殿場市内各種団体、民生委員児童委員等 30団体

※ 平成28年度 主要施策報告書による。

## 議会の活動（一般質問）

	時期	質問事項
1	H 2 8 . 6	幼児の教育・保育について
2	H 2 8 . 6	発達相談センターの充実強化について
3	H 2 8 . 9	真の子育て日本一を目指すまちづくりの現状と今後の方向性について
4	H 2 9 . 3	御殿場市の子育て施策について
5	H 2 9 . 3	発達支援の今後の方向性について
6	H 2 9 . 3	御殿場市子ども条例行動計画の策定と今後の課題等について
7	H 2 9 . 6	御殿場市の子育て環境の充実について
8	H 2 9 . 6	新制度後の学童保育(放課後児童クラブ)の課題について

# 考 察

○ 施設の確保

民間活力の活用

地域型・事業所

○ 要員の確保

○ 要員処遇の改善